日向市介護予防・日常生活支援総合事業における

指定第１号通所事業（通所型サービス）運営規程

（事業の目的）

1. 有限会社共栄調剤薬局が設置するデイサービスえん（以下「事業所」という。）において実施する日向市介護予防・日常生活支援総合事業における指定第１号通所事業（通所型サービス）（以下、「通所型サービス」という。）の適正な運営の確保するために必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、事業所の従業員が要支援状態等の利用者に対し、適切な通所型サービスを提供することを目的とする。

　（運営の方針）

1. 利用者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、心身機能の回復を図り、もって生活機能の維持又は向上をめざすものとする。

　２　利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めるものとする。

　３　事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、地域包括支援センター、

　　　他のサービス事業者、保健医療サービス及び福祉サービスを提供する者との連携に努めるものとする。

　４　通所型サービスの提供の終了に際しては、利用者又はその家族に対して適切な指導を行うとともに、関係

　　　機関への情報の提供を行う。

　（事業の運営）

1. 通所型サービスの提供に当たっては、事業所の従業者によってのみ行うものとし、第三者への委託は行わないものとする。

　（事業所の名称等）

1. 事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。
	1. 名　称　　　デイサービスえん
	2. 所在地　　日向市伊勢ヶ浜１１９番地

　（従業者の職種、員数及び職務の内容）

1. 事業所における従業員の職種、員数及び職務の内容は次のとおりとする。
	1. 管理者　　１名（常勤職員）

　　　　　　　　管理者は、従業者及び業務の実施状況の把握その他業務の管理を一元的に行うとともに、通所型サービスの実施に関し、事業所の従事者に対し遵守すべき事項についての指揮命令を行う。

* 1. 従事者　　５名（常勤職員３名）

　　　　　従事者は、通所型サービスの業務に当たる。

　　（営業日及び営業時間）

1. 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。
	1. 営業日　　　月曜日から土曜日とする。ただし、１月１日から１月３日までを除く。
	2. 営業時間　 午前８時００分から午後５時００分までとする。
	3. サービス提供時間 午前８時３０分から午後４時３０分までとする。

　（通所型サービスの利用定員）

1. 事業所の利用定員は、１日１単位　１８名とする。

　（通所型サービスの内容）

1. 通所型サービスの内容は、次に掲げるもののうち必要と認められるサービスを行うものとする。
	1. 入浴サービス
	2. 給食サービス
	3. 生活指導（相談・援助等）、レクリエーション
	4. 機能訓練
	5. 健康チェック
	6. 送迎
	7. アクティビティ（介護予防）　　など

　（利用料等）

1. 通所型サービスを提供した場合の利用料の額は、「日向市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱」上の額とし、そのサービスが法定代理受領サービスであるときは、利用者から本人負担分の支払いを受けるものとする。

　　　２　食事の提供に要する費用については、１日あたり５５０円を徴収する。（おやつを含む）

　　　３　おむつ代については、実費を徴収する。

　　　４　その他、通所型サービスにおいて提供される便宜のうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用については実費を徴収する。

　　　５　前４項の利用料等の支払を受けたときは、利用料とその他の費用（個別の費用ごとに区分）について記載した領収書を交付する。

　　　６　通所型サービスの提供の開始に際し、あらかじめ、利用者又はその家族に対し、利用料並びにその他の費用の内容及び金額に関し事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。

　　　７　費用を変更する場合には、あらかじめ、前項と同様に利用者又はその家族に対し事前に文書で説明した上で、支払いに同意する旨の文書に署名（記名押印）を受けることとする。

　（通常の事業の実施地域）

1. 通常の事業の実施地域は、日向市内とする。

（衛生管理等）

第１１条　利用者の使用する施設、食器その他の設備又は飲用に供する水について、衛星的な管理に努　　　　　　　　めるとともに、衛生上必要な措置を講ずるものとする。

　　　２　事業所において感染症が発生し、又まん延しないように必要な措置を講じるとともに、必要に応じ保健所の助言、指導を求めるものとする。

　（サービス利用に当たっての留意事項）

第１２条　利用者は通所型サービスの提供を受ける際には、医師の診断や日常生活上の留意事項、利用当日の

　　健康状態を従事者に連絡し、心身の状況に応じたサービスの提供を受けるよう留意する。

　（緊急時等における対応方法）

第１３条　通所型サービスの提供を行っているときに利用者に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する等の措置講ずるとともに、管理者に報告する。主治医への連絡が困難な場合は、緊急搬送等の必要な措置を講じるものとする。

　　　２利用者に対するは通所型サービスの提供の提供により事故が発生した場合は、市町村、当該利用者の　家族、当該利用者に係る地域包括支援センター等に連絡するとともに、必要な措置を講じるものとする。

　　　３利用者に対するは通所型サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合には、賠償責任を速やかに行うものとする。

　（非常災害対策）

第１４条　非常災害に備えて、消防計画、風水害、地震等の災害に対処するための計画を作成し、防火管理者または火器・消防等についての責任者を定め、年１回以上、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行うものとする。災害時には業務継続計画（BCP）に基づいた対応を行うものとする。

　（苦情処理）

第１５条　通所型サービスの提供に係る利用者及びその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するために、必要

　　な措置を講じるものとする。

　　２事業所は、提供した通所型サービスに関し、法第２３条の規定により市町村が行う文書その他の物件の

　　　提出若しくは提示の求め又は当該市町村からの質問若しくは照会に応じ、及び市町村が行う調査に協力

するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行う

　　　ものとする。

　　３事業所は、提供した通所型サービスに係る利用者からの苦情に関して国民健康保険団体連合会の調査

　　　に協力するとともに、国民健康保険団体連合会から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言

　　　に従って必要な改善を行うものとする。

　　＜苦情受付窓口担当者＞　　　　　生活相談員

　　＜苦情受付時間＞　　　　　　　月曜日から土曜日　　午前８時００分から午後１７時００分

　　＜受付電話番号＞　　　　　　　０９８２－５７－３２８２

（個人情報の保護）

第１６条　事業所は、利用者の個人情報について「個人情報の保護に関する法律」及び厚生労働省が策定した

「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドライン」を遵守し適切な取り扱いに努めるものとする。

　　　２　事業所が得た利用者の個人情報については、事業所での介護サービスの提供以外の目的では原則的

　　　　　に利用しないものとし、外部への情報提供については必要に応じて利用者又はその代理人の了解を得　るものとする。

　　　３　従業者は、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持するものとする。

　　　４　従業員であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業員でなくなった後においてもこれらの秘密を保持するべき旨を、従業者との雇用契約の内容とするものとする。

　（虐待防止に関する事項）

第１７条　事業所は、利用者の人権の擁護・虐待の防止等のため次の措置を講ずるものとする。

* 1. 虐待を防止するための従業員に対する研修の実施
	2. 利用者及びその家族からの苦情処理体制の整備
	3. その他虐待防止のために必要な措置

　２　　事業所は、サービス提供中に、当該事業所従業員又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する

　　　　者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに、これを市町村に通報するも　　のとする。

　（その他運営に関する留意事項）

第１８条　事業所は、従業者の資質向上のために研修の機会を設けるものとする。

　２　事業所は、通所型サービスに関する記録を整備し、サービスを提供した日から５年間保存するものとする。

　３　この規程に定める事項のほか、運営に関する重要事項は有限会社共栄調剤薬局と事業所の管理者との

　　　協議に基づいて定めるものとする。

　（事業の廃止又は休止の届出及び便宜の提供）

第１９条　事業所は、事業を廃止し、又は休止しようとする場合は、その廃止又は休止の日の１ヶ月前までに、次に掲げる事項を日向市へ届け出なければならない。

（１）　　　　　　　廃止し、又は休止しようとする年月日
（２）　　　　　　　廃止し、又は休止しようとする理由

1. 現に通所型サービスを受けている者に対する措置
2. 休止しようとする場合にあっては、休止の予定期間

（暴力団排除に関する事項）
第２０条　事業所は「日向市暴力団排除条例」に基づき暴力団を利することとならないようにするとともに、
　　　　　市が実施する暴力団の排除に関する施策に協力するものとする。
　（１）　事業者は、暴力団又は暴力団員、暴力団関係者と密接な関係を持たないものとする

　（ハラスメント対策の強化）
第２１条　事業所は、適切な地域密着型通所介護デイサービスえんの提供を確保する観点から、職場
　　　　　において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲
　　　　　を超えたもの、また、取引先等や顧客からの著しい迷惑行為（暴行、脅迫、ひどい暴言、著しく不当な
　　　　　要求等）により当該事業所の従業者の就業環境が害される事を防止するための方針の明確化等の必要
　　　　　な措置を講じる。

　　（１）ハラスメント防止規定、対応マニュアル等の整備を行う。
　　（２）掲示等で、従業員への周知・啓発を行う。
　　（３）定期的な職員研修の実施を行う

（感染予防対策）
第２２条　事業所は、利用者様の感染予防対策に日頃から努めることとし、感染者が確認された場合におい
　　　　　ては、業務継続計画（BCP）に基づいた対応を行うものとする。

（附　則）

　　この規程は、平成３０年４月１日から施行する。
この規程は、令和元年１０月１日から施行する。
この規程は、令和2年　９月１日から施行する。
この規程は、令和３年　４月１日から施行する。
この規程は、令和4年　４月１日から施行する。
この規程は、令和6年　４月１日から施行する。